

北辰会総会・懇親会を終えて
～北辰会の一員になれた喜びと一歩前に向かって～

29期 竹本治男（大鶴）

北辰会会長、岡田多聞様をはじめ北辰会活動を支えている役員の皆様本当にありがとうございます。私も昨年末より北辰会事務局員に名を連ねることが出来、光栄に思っています。文集「北辰V」のタイトル揮毫や北辰会総会の看板作りの依頼要請があり、それに応えることができ嬉しく、北辰会を支える一員になれた喜びを感じています。



「ほたるに雪に」（上巻）（下巻）を読みました。伝統のある北野定時制の卒業生として・北辰会の一員として心にこみ上げてくるものがあります。

先生や先輩そして仲間のおかげだと痛感しています。

私は古稀を過ぎ71歳になりました。人生の幸せってなんだろう？と考えてみました。

- ・青春時代にやりがいか目標をもつこと
- ・その目標（できれば好きなこと）を生涯やり通すこと
- ・少しでも社会にお返しすること
- ・生きてきた証（形跡）を残すこと と思っています。

北辰会の書籍やHPへの掲載…ほんとうにありがたいです。「明日に向かって頑張ろう！」と励ましてくれます。

「ほたるに雪に」下巻「北辰会よもやま話」番外編 25期 前田 直人さん（1989年記）を読んで強烈な思いをしました。私も高校定時制卒をあまり表現せずコンプレックスをもち続けていました。周囲の人は大学卒が多く、特に「日展」に入選し始めると美術・芸術大・教育大卒や大学教授の先生たちと関わることが多く学生時代の話に盛り上がり話を合わす程度で寂しい思いをしていました。子供達にも話していません。苦労話になるから言いませんでした。17期の水口健三会計監査や18期佐藤寅夫会計監査の諸先輩は私と同じく故郷但馬出身の大企業の養成校出。特に佐藤先輩は若輩の私と同じく郷里も住友電工（株）伊丹の養成校から北野高校定時制と同じ道を歩かれた立派すぎる先輩に出会いました。北辰会事務局員にさせていただき会合や書籍・北辰会報・HPを拝読するにつれてコンプレックスの殻を破る勇気が出てきました。一歩前に向かって行きたいと思っています。

記念室に「改組新第4回日展（2017）」の入選作品を寄贈させていただきました。また総会に参加した同期（北海道から参加の並河ご夫婦）たちと写真を撮らせていただきました。

会長はじめ役員みなさんありがとうございました。



北辰会に寄贈された竹本様の 改組 新 第4回日本美術展覧会（2017）入選書
北辰記念室に陳列してあります



2018年5月20日総会の日 北辰記念室にて29期の皆さんと（左端;竹本様）